

査読報告書

査読日:平成 年 月 日

査読者名:

原稿番号:

総合的に判断した論文の質（一般論文の場合、下記の項目の前に○印を付けて下さい。）

非常に高い：論文賞候補として十分に値する。

高い：論文賞候補に準ずる程度である。

普通：論文としては完成されているが論文賞候補とするほどではない。

やや低い

低い

***** 以下、投稿者へ開示する項目 *****

1. 掲載判定項目

①分野：内容が包装の基礎や産業などの分野に関するものであること。

分野として適当 不適当（○印を付けて下さい）

②有効性：内容が学術や産業の発展に何らかの意味で役立つものであること。

高い やや高い 中間 やや低い 低い（○印を付けて下さい）

③新規性：主要な内容が既発表あるいは公知ではないこと。

高い やや高い 中間 やや低い 低い（○印を付けて下さい）

④信頼性：論旨が通り、信頼できる何らかの根拠を示していること。

高い やや高い 中間 やや低い 低い（○印を付けて下さい）

⑤論旨の明快性：論旨の展開が判りやすく、順序立てて明瞭に記述してあること。

高い やや高い 中間 やや低い 低い（○印を付けて下さい）

⑥体裁：英文アブストラクト、題目、図表がそろい、文体においても「まえがき」と「あとがき／むすび」など要約がされていること。また、内容が必要十分に書かれていれば、原稿は短い方が良い。

良い 一部問題 悪い（○印を付けて下さい）

2. 掲載の可否について

(判定項目の前に○印を付けて下さい)

可 : このまま掲載することに何ら問題がない。

または、一部希望事項があるが掲載に支障はない。

条件付可Ⅰ : 掲載がほぼできる状態ではあるが、一部不適當な部分があり、
著者に修正を求めれば短期間で修正可能と思われる。

再査読の必要は無い。

条件付可Ⅱ : 掲載がほぼできる状態ではあるが、一部不適當な部分があり、
著者に修正を求めれば短期間で修正可能と思われる。

再査読の必要がある。

論文種類を(技術報告、ノート)にすれば、掲載可:再査読必要なし

論文種類を(技術報告、ノート)にすれば、掲載可:再査読必要あり

否 : 掲載の条件を満足していない。

3. 査読者からのコメント

***** 以上、投稿者へ開示する項目 *****
コメント記入上の注意事項

- 1)投稿者に希望する内容を明確に記入して下さい。記入スペースが不足する場合は、別紙を添付してください。
- 2)条件付き可の場合の条件について、修正を必要とする事項を、著者が誤解したり判断に苦しんだりしないように、明確に記入して下さい。また投稿原稿の意図する範囲をこえた広い範囲を対象にしないようにして下さい。
- 3)掲載可否判定の理由を記入してください。判定理由を、著者が納得できるように、例えば文献や根拠を示しながら明瞭に記入して下さい。